

報告・協議 1

全県立学校における一人1台コンピュータ導入に係る取組について

このことについて、別紙のとおり報告します。

令和3年4月21日

広島県教育委員会教育長 平川理恵

全県立学校における一人1台コンピュータ導入に係る取組について

1 要旨

令和3年4月から、全県立学校において生徒一人1台コンピュータを導入する。
これに伴い、昨年度の取組内容を踏まえ、令和3年度も新規導入校に重点を置いて支援を行う。

2 令和2年度の取組及び学校の状況

(1) 学校支援の取組

内 容	合 計	高等学校	特別支援学校
学校訪問	367回	332回 (平均: 既導入校 5.5回/未導入校 2.9回)	35回
うち訪問研修	130回	112回	18回
推進担当教員研修	4回	2回	2回
技術的な支援	・ 支援員の訪問等による支援 (4・5月) ・ コールセンターの設置 (8～3月)		

(2) 学校の状況

指導主事による学校訪問や研修等を通してデジタル機器の活用が広まったが、一部の教員の活用にとどまっている学校もあり、継続した支援が必要である。

3 令和3年度の取組

- ・ 県立学校を指導主事が訪問し、デジタル活用についての情報を共有するとともに、各学校の要望に応じて体験型の研修を実施する。
- ・ 推進担当教員対象の研修を実施する。(8月及び11月を予定)
- ・ コールセンターを継続設置するとともに、支援員の巡回訪問を実施する。
- ・ 昨年度末から校内ネットワーク整備工事を開始しており、8月末までに全ての県立学校において整備完了予定となっている。
※ 4月段階で未整備の学校には、使用開始となるまでの間、ホームルータやモバイルルータを暫定的に配置している。

4 市町立学校の導入支援

- ・ 令和2年度には、市町教育委員会と協力し、指導主事対象の研修や各地区校長会での研修など、それぞれの要望に応じた研修を行い、県内の公立小中学校においても児童生徒の日常的なデジタル機器の活用が進むよう支援した。
- ・ 児童生徒一人1台コンピュータの導入完了に伴い、令和3年度には全ての学校で活用される予定であることから、引き続き市町教育委員会と協力して研修や訪問を実施し、県内の公立小中学校におけるデジタル機器活用の更なる推進に向けた支援を行う。

<参考：令和3年度新入学生の導入機種（OS）>

（高等学校）

機種（OS）	合計	令和2年度導入校	令和3年度新規導入校
Windows	31校	15校	16校
iPad	32校	16校	16校
Chromebook	16校	4校	12校
指定なし	2校		2校
合計	81校	35校	46校

- ・ 全日制課程及び定時制課程を併設している学校は、全日制課程の機種を記載している。
- ・ 特別支援学校（17校）においても、児童生徒一人1台コンピュータを導入する。
（導入機種は全校iPad。ただし、一部の児童生徒は他の機種を使用。）